

第4回 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（部会長案）

【大阪府地域防災計画の修正に向けた課題（暫定版）】

基本方針	主要目標（対策）[想定]6/6 部会	課 題	
I 命を守る	・大阪のリスクへの対応	1 地震による倒壊や火災から人命を守るとともに、被害を軽減する	
		2 津波や堤防破壊等による浸水から人命を守るとともに、被害を軽減する	
		3 「逃げる」対策の総合化や充実・強化により、人命を守るとともに、被害を軽減する	
		4 一人ひとりの主体的な行動により、自らの命を守るとともに、被害を軽減する	
		5 地域防災力の向上により、人命を守るとともに、被害を軽減する	
II 命をつなぐ	・危機管理体制の再構築	6 要救助者等に対する迅速かつ適切な救助・救急、医療活動の実施により、人命を救うとともに、安全・安心を確保する	
		7 要援護者の人命を守るとともに、安全・安心を確保する	
III 必要不可欠な行政機能の維持	・自助・共助の充実	8 帰宅困難者の人命を守るとともに、安全・安心を確保する	
		9 食糧・物資等の確保・供給により、避難者（自宅避難含む）の安全・安心を確保する	
IV 経済活動の機能維持	・「逃げる」ための対策の総合化	10 避難生活・被災地生活のQOLを向上させる	
		・応急対応の最適化（QOL）	11 必要不可欠な行政機能を維持する
			12 近隣府県が同時被災した場合に備え、広域連携をさらに拡大・強化する
V 迅速な復旧・復興	・迅速な復旧・復興	13 被災情報の一層迅速かつ正確な収集・共有・提供が可能となるよう体制を強化する	
		14 府民の安全・安心の確保、迅速な復旧へつなげるため、二次災害を最大限防止する	
		15 日本の経済活動の拠点の一つである「大都市・大阪」の経済活動を機能不全に陥れない	
		16 生活・経済活動に必要最低限のライフライン・交通施設等を確保し、早期復旧につなげる	
		17 被災者の生活、被災したまちが迅速に再建・回復できるよう条件を整備する	

【大阪府の新たな地震被害軽減対策に対する部会としての意見】

- ・期 間 : 10年間（目標設定後）
- ・達成目標 : 人的被害[死者]・経済被害の『半減』をめざす
- ・対策レベル : レベル1のハード対策の水準を上回るような最大クラスの自然災害にあたっては、ソフト対策とハード対策を組み合わせた多重防御で対応
但し、「大都市・大阪」の重要性を考慮し、防潮堤対策等については、L1を基本としつつ、状況に応じて+αの取組を実施
- ・その他（備蓄）: 日常備蓄（住民）は1週間分以上（呼びかけ）、公共備蓄は災害等応急対策実施要領を改訂する中で、南海トラフ巨大地震対策大綱等の国の動向を踏まえ検討